

第六 労働者死亡シタルトキハ事業主ハ遺族又ハ労働者ノ死亡當時其ノ収入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニ標準賃金三百六十日分以上ノ遺族扶助料ヲ支給スベキコト

第七 労働者死亡シタルトキハ事業主ハ葬祭ヲ行フ遺族又ハ労働者ノ死亡當時其ノ収入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニシテ葬祭ヲ行フ者ニ標準賃金三十日分(其ノ金額三十四ニ滿テザルトキハ三十圓)以上ノ葬祭料ヲ支給スベキコト

第八 第三ノ規定ニ依リ本人ニ支給スル費用及休業扶助料ハ毎月一回以上之ヲ支給スベキコト

第九 第三ノ規定ニ依リ扶助ヲ受ケ又ハ健康保険法ニ依リ療養ノ給付若ハ療養費ヲ支給セザル労働者療養開始後一年ヲ經過スルモ負傷又ハ疾病治癒セザルトキハ事業主ハ標準賃金五百四十日分以上ノ打切扶助料ヲ支給シ以後本令ノ規定ニ依リ扶助ヲ爲サザルコトヲ得ルコト

第十 本令ニ依リ療養ノ扶助若ハ休業扶助料ヲ受ケル労働者歸郷ヲ必要トスルトキ又ハ歸郷扶助料若ハ打切扶助料ヲ受ケタ

第七 労働者死亡シタルトキハ事業主ハ遺族又ハ労働者ノ死亡當時其ノ収入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニ標準賃金三百六十日分以上ノ遺族扶助料ヲ支給スベキコト

第八 第三ノ規定ニ依リ本人ニ支給スル費用及休業扶助料ハ毎月一回以上之ヲ支給スベキコト

第九 第三ノ規定ニ依リ扶助ヲ受ケ又ハ健康保険法ニ依リ療養ノ給付若ハ療養費ヲ支給セザル労働者療養開始後一年ヲ經過スルモ負傷又ハ疾病治癒セザルトキハ事業主ハ標準賃金五百四十日分以上ノ打切扶助料ヲ支給シ以後本令ノ規定ニ依リ扶助ヲ爲サザルコトヲ得ルコト

第十 本令ニ依リ療養ノ扶助若ハ休業扶助料ヲ受ケル労働者歸郷ヲ必要トスルトキ又ハ歸郷扶助料若ハ打切扶助料ヲ受ケタ

第七 労働者死亡シタルトキハ事業主ハ遺族又ハ労働者ノ死亡當時其ノ収入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニ標準賃金三百六十日分以上ノ遺族扶助料ヲ支給スベキコト

第八 第三ノ規定ニ依リ本人ニ支給スル費用及休業扶助料ハ毎月一回以上之ヲ支給スベキコト

第九 第三ノ規定ニ依リ扶助ヲ受ケ又ハ健康保険法ニ依リ療養ノ給付若ハ療養費ヲ支給セザル労働者療養開始後一年ヲ經過スルモ負傷又ハ疾病治癒セザルトキハ事業主ハ標準賃金五百四十日分以上ノ打切扶助料ヲ支給シ以後本令ノ規定ニ依リ扶助ヲ爲サザルコトヲ得ルコト

第十 本令ニ依リ療養ノ扶助若ハ休業扶助料ヲ受ケル労働者歸郷ヲ必要トスルトキ又ハ歸郷扶助料若ハ打切扶助料ヲ受ケタ

第七 労働者死亡シタルトキハ事業主ハ遺族又ハ労働者ノ死亡當時其ノ収入ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニ標準賃金三百六十日分以上ノ遺族扶助料ヲ支給スベキコト

四四

レ労働者扶助料ヲ受ケタル日ヨリ十五日以内ニ歸郷スル場合ニ於テハ事業主ハ其ノ必要ナル旅費ヲ負擔スベキコト

第十一 事業主及労働者ノ出損スル共済組合ニシテ事業主ノ出損額ガ労働者ノ業務上ノ負傷疾病及死亡ニ對スル給與ノ總額ヲ下ザルモノガ本令ノ扶助ニ相當スル給與ヲ爲シタル場合ニ於テ事業主ハ豫メ地方長官ノ承認ヲ受ケタルトキハ其ノ給與ノ限度ニ於テ本令ノ扶助ヲ爲サザルコトヲ得ルコト

第十二 扶助料及葬祭料算出ノ基礎トスベキ標準賃金ハ左ノ各條ノ金額トスルコト

一、労働者災害扶助法第一條第一項第二號(イ)及(ロ)ノ工事及同法第一項第三號ノ事業ニ常時使用セラルル者ニシテ定額ニ依リ賃金ヲ受ケルモノニ付テハ其ノ定額

二、労働者災害扶助法第一條第一項第二號(イ)及(ロ)ノ工事ニ日々雇入れラルル者勞務供給契約ニ基キ使用セラルル者其ノ他臨時ニ使用セラルル者及同號(イ)ノ工事ニ使用セラルル者ニ付テハ女子及十六歳未満ノ者ハ六十錢、其ノ他ノ者ハ一圓

三、前二號ニ該當セザル者ニシテ日々ニ雇入れラルル者又ハ勞務供給契約ニ基キ使用セラルル者ニ付テハ事故發生ノ日ニ於テ該當事業ニ使用セラルル同種労働者ノ平均賃金ノ三分ノ二ニ相當スル額

四、前三號ニ該當セザル者ニ付テハ事故發生前(賃金締切日三百六十日、月ヲ以テ定メタルトキハ三十日分シテ一日ノ賃金又ハ給與ヲ定ムルモノトスルコト

第十三 前項ノ規定ニ依リ扶助料及葬祭料算出ノ基礎トスベキ標準賃金ノ額ヲ算出スルコト不適當ナリトセラル、場合ニ於テ事業主ハ地方長官ノ認可ヲ受ケ別段ノ標準賃金ヲ定ムルコトヲ得ルコト

第十四 工場法施行令第七條ノ二、第十條乃至第十二條、第十三條ノ二、第十五條及第十八條ノ規定ハ本令ニ依リ扶助ニ付キ之ヲ適用スルコト

第十五 官營ノ事業ニ於ケル労働者ノ扶助ニ付テハ別ニ定ムル規程ニ依ルコト

第十六 事業主ハ扶助代理人ヲ選任スルコトヲ得ルコト

第十七 事業主ガ事業ノ場所ニ居住セザルトキ又ハ法人ナル場合ニ於テ主ナル事務所ガ事業ノ場所ニ在ラザルトキハ扶助代理人ヲ選任スベキコト

第十八 前二項ニ依リ扶助代理人ヲ選任シタルトキハ選任ナク地方長官ニ届出ヅベキコト

第十九 扶助代理人ハ扶助ニ關シ事業主ノ爲スベキ一切ノ手續其ノ他ノ行爲ヲ委任セラレタルモノト看做スコト

第二十 労働者就業中又ハ事業場及附属建設物ニ於テ負傷シ、疾病ニ罹リ又ハ死亡シタルトキハ事業主ハ選任ナク醫師ヲシテ診断又ハ検査ヲ爲サシムベキコト